

NPO等の絆力を活かした復興支援事業(情報収集・提供事業)質問及び回答

1	<p>(質問)</p> <p>仕様書の業務内容(2)ハにおいて、「平成 28 年度・平成 29 年度宮城県 NPO 等の絆力を活かした震災復興支援事業成果報告書の作成」とあるが、この報告書の趣旨、配布対象、内容として入れるべきものはどのようになるか。また、平成 28 年度の事業実施団体は県に対し成果報告書を提出しているが、これを元にまとめるのか、それとも団体から新たに情報を提供してもらうのか。</p>	<p>(回答)</p> <p>報告書の趣旨は、「宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業」の成果の普及であり、配布対象は、「平成29年度宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業成果報告会」の来場者や、県内のNPO支援センター等を想定している。内容については、「団体名」、「事業名」、「事業概要」、「事業実績」等を含むものとするが、詳細については、発注者と協議の上、決定するものとする。また、平成 28 年度の成果報告書の作成に当たり、補助事業者が作成した成果報告書を活用することは可能であるが、不足する情報については、補助事業者から新たに情報提供を受けるものとする。</p>
2	<p>(質問)</p> <p>仕様書の業務内容(3)ニにおいて、「対象者(利用者等)へのアンケート作成・集計等に関する事」とあるが、このアンケートはどのような趣旨・目的で、どの対象者に対して実施するものか。また、対象者数と回答数はどのくらいを想定しているか。</p>	<p>(回答)</p> <p>アンケートの趣旨は、「NPO等の絆力を活かした復興支援事業(情報収集・提供事業)」の成果の測定等であり、対象者は、本事業の受益者(情報の受け手となるNPO法人等)とする。また、対象者数及び目標回答数については、企画提案された内容を踏まえ、発注者と協議の上、決定するものとする。</p>
3	<p>(質問)</p> <p>情報提供の手段としてウェブを利用する場合、サーバーは受託者側で用意することになるか。また、ウェブにコンテンツがある場合、事業期間終了後はサーバーの取り扱いはどうなるか。</p>	<p>(回答)</p> <p>県のWEBサーバーの利用を想定している。なお、作成にあたっては、発注者との協議を要する。</p>